

# こんな雨の日に

## 映画「真実」をめぐるいくつかのこと 是枝裕和

2019年9月30日発売



映画コンテ、自身が撮影した写真、  
撮影の記録とともに、  
是枝監督自身が映画について、  
現在の想いを綴る――

『こんな雨の日に』というのは以前僕が書いていた  
未完成の脚本の題名である。  
もともとは2003年の暮れ、パルコ劇場で上演するべく  
準備していたもので、残念ながら実現には至らなかった。  
「こんな雨の日にお芝居観にくる人なんているのかしら……」  
と化粧をしながら楽屋で主人公が呟く、  
その台詞をタイトルにした。  
それから15年経ち、この脚本はタイトルも舞台も  
キャストも変わりながら、新たに生まれようとしていた。  
この本は、その出産までの過程を追った記録の一部である。

主演にカトリーヌ・ドヌーヴを迎え、ジュリエット・ピノシュ、イーサン・ホークら  
錚々たるキャストが出演する、是枝裕和監督の最新映画『真実』。監督初の国際共同  
製作作品として、全編フランスで撮影され、  
2019年10月11日に日本公開される。

是枝監督自身が、制作日誌、画コンテ、自  
自身が撮影した写真とともに、映画『真実』  
をめぐるいくつかのことへの想いを綴る  
――。

フランス、映画監督として、『万引き家  
族』、カトリーヌ・ドヌーヴ……。

「真実」にたどり着く8年間の物語。



こんな雨の日に  
映画「真実」をめぐる  
いくつかのこと

著者：是枝裕和  
文藝春秋刊  
2019年9月30日発売  
定価（本体1750円＋税）  
ISBN 978-4-16-391101-4

### 是枝裕和

1962年6月6日、東京生まれ。1987年に早稲田大学  
第一文学部文芸学科卒業後、テレビマンユニオン  
に参加。2014年に独立し、制作者集団「分福」を  
立ち上げる。主なテレビ作品に、「しかし…」  
(1991年)などがある。1995年、『幻の光』で映  
画監督デビュー。『誰も知らない』(2004年)  
『歩いて歩いて』(08)『そして父になる』  
(13)『海街diary』(15)などで、国内外の主要  
な映画賞を数々受賞。2018年、『万引き家族』が  
第71回カンヌ国際映画祭でパルムドールを受賞、  
第91回アカデミー賞外国語映画賞にノミネートさ  
れた。  
著書に『映画を撮りながら考えたこと』(ミシマ  
社)、『歩くような速さで』(ポプラ社)、『万  
引き家族』(宝島社)などがある。

### 映画「真実」

第76回ヴェネチア国際映画祭  
コンペティション部門  
オープニング作品  
2019年10月11日  
全国ロードショー  
主演 カトリーヌ・ドヌーヴ  
ジュリエット・ピノシュ  
イーサン・ホーク  
© 2019 3B-分福-MI MOVIES-FRANCE 3 CINEMA



## 著者取材・プレゼント対応、ご相談ください

この書籍に関する  
お問い合わせ

株式会社文藝春秋 〒102-8008 東京都千代田区紀尾井町3-23  
●宣伝プロモーション部 TEL: 03-3288-6142 Mail: pr@bunshun.co.jp